



VOL. 16  
 2020年4月発行  
 秋田市少年指導センター  
 TEL884-3869



令和2年1月31日(月)、「第2回地区少年指導委員会代表者会議」を開催しました。

会議では、今後の事業計画と各地区の活動状況について話し合われたほか、「子供・若者育成支援のための地域連携推進事業」の「北海道・東北ブロック研修会」に参加した中央第一地区の森会長と「中央研修大会」に参加した雄和地区の進藤副会長から研修内容を報告していただきました。また、事務局からは、各警察署で情報発信している「地域安全メール」への登録を推奨し、その運用で期待される効果および登録方法等について説明しました。

### 令和元年度子供・若者育成支援のための地域連携推進事業 中央研修大会 報告

代表者会議において、雄和地区少年指導委員会の進藤司副会長からご報告いただいた「中央研修大会」の内容の一部をご紹介します。

- シンポジウムテーマは「ひきこもり調査結果から読み解くもの」であった。
- 基調講演(久留米大学文学部教授 門田光司氏)  
 ひきこもりに関する実態調査の結果によると、「ひきこもりのきっかけ」は、「退職」、「病気」、「就職活動の失敗」、「不登校」などがあげられた。また、「関係機関に相談したいと思うか」の問いに「思わない」との回答が63.2%もあった。「どのような機関なら相談したいと思うか」の問いには、「無料で相談できるなら」「親身にきいてくれるなら」などの回答があった。
- シンポジスト発表(東洋英和女学院大学人間科学部准教授 渡部麻美氏)  
 東京都・内閣府によるひきこもりの調査についての報告があった。男女比では男性が多い。実態とは異なる、「自室でネットやゲームばかりしている」とか、「甘えている」、「わがまま」といったネガティブイメージが先行している。  
 今後の課題としては、「様々な属性・特徴を持つひきこもり状態の人の実態把握の方法を検討する必要がある」とのことであった。

令和2年2月6日(金)、「第2回秋田市少年指導センター運営協議会」を開催しました。

会議では、今年度の事業実施報告、来年度の事業計画、各団体からの情報交換などを行いました。情報交換において、秋田中央警察署から「朝のあいさつ運動に加え、見守りの空白時間帯である下校時の安全指導と『※あいうえお運動』を推進している。」とのお話があり、下校時も力を入れている団体が増えてきました。

※「あ」すも「い」かのおすしと「う」ちの人との約束を守り「え」がおで「お」はようの合い言葉。



# ネット犯罪被害や非行から子供を守ろう！

内閣府では、令和2年2月～5月に「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を行っています。フィルタリングの利用促進やインターネットリテラシー(情報ネットワークを正しく利用する能力)の向上など、青少年が安心・安全にインターネットを利用できるよう知識を深めましょう。



## 1 フィルタリングを設定しよう！スマホのフィルタリングは3種類！

- ① 携帯電話が提供する回線のフィルタリング
  - ② 無線LAN(Wi-Fi)に対するフィルタリング
  - ③ アプリのフィルタリング
- ⇒フィルタリングの設定方法は、携帯電話会社で異なるので、詳細な方法は、販売店にご相談ください。「安心ネットづくり促進協議会」のホームページでも紹介されています。

## 2 SNSを安全に利用しよう！

SNSを起因とする青少年の犯罪被害が多発しています。「ネットでしか知らない人と直接会わない」、「トラブルを一人で抱え込まない」等、SNSのリスクや安心・安全な利用について親子で話し合い、家庭のルールを作りましょう。

⇒詳しくは、経済産業省のホームページで紹介されている「インターネット利用に当たっての成長段階ごとの注意事項」を確認してみましょう。

## 巡回日誌から

・今回は新型コロナウイルスの影響から、広報グッズの

配布や声かけをしないという初めてのパターンでしたが、腕章をつけて歩くだけでも学生さんは気にして見てくれていたのよかったです。防犯カメラの向きが天井を向いているような店があり、きちんと撮れているのか気になりました。(定例巡回)

- ・秋田駅周辺は、新型コロナウイルスによる休校措置のためか、学生の姿は少ない状況でした。
- ・インターネットカフェの店員さんは「外出自粛傾向にあるのか、利用者が少なく特に気になる様子はない」と話していました。
- ・アルヴェ1Fホールで4～5名の若い男性たちが椅子をガタガタさせたり引きずったりなどして大きな音をたてている姿があり、気になりました。(定例巡回)

## 優良図書紹介コーナー

### 「森のゲオルグ」(作・絵：ノーブスミー)

ハンディキャップを持った妖精の絵本であり、「自己肯定感の大切さ」がテーマとなっている冒険物語である。主人公が、自身の強みや可能性を信じ生きていく姿は読者である子どもたちの心を勇気づけ豊かにする。「親子間の愛情」と「子どもの個性を尊重し、伸ばすこと」の大切さを描いており、親子のふれあいの場や読み聞かせの場に最適な絵本である。(令和元年6月出版)

《優良図書とは…青少年の健全な育成を図る上において有益であると秋田県知事が推奨した図書です》



## わかくさ相談電話より



わかくさ相談電話では、少年に関する悩みや心配事の相談に応じます。春は、季節の変わり目や環境の変化から気持ちが不安定になってしまうことがあります。友達、学校、勉強、進路、家族のことなど、ひとりで悩まず相談してみたいかがでしょうか。来所も可能です。ぜひお気軽にご利用ください。

**わかくさ相談電話**  
**018-884-3868**

## お知らせ

- 4月15日(水) 観桜会特別巡回(予定)
- 6月2日(火) 運営協議会  
(午後2時 市役所5階 議会第2委員会室)
- 7月9日(月) 少年指導委員委嘱式  
(午後2時 市役所5階正庁)

秋田県では、毎月第3日曜日を“家庭の教育力向上”のための「あきた家族ふれあいサンサンデー」としています。家族全員で時間をかけて食事をとりながら会話を楽しむなど、家族の絆を深めてみてはいかがでしょうか。